

## 1. 現在の生育状況 (4/14調査より)

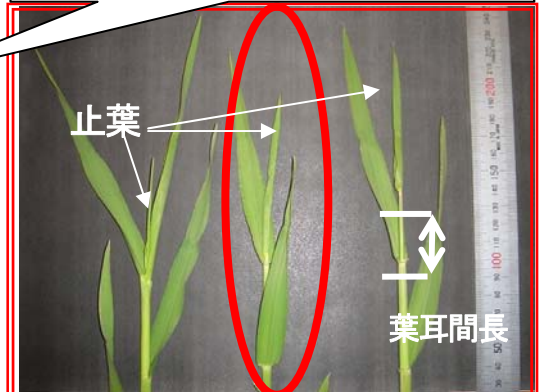
積雪期間が長かったため、生育は昨年より4日程度、平年より14日程度、おくれています。莖数は、ほ場間でバラツキが大きくなっています。

今後の生育ステージは下記の表1のように予想されますが、今後の天候により変動しますので、必ずほ場で、止葉展開期を確認しましょう。

表1. 予想される生育ステージ

止葉展開期	4/18~26
出穂期	5/1~7

莖数 (本/m<sup>2</sup>): 823 (645)  
 葉色 (SPAD): 43.8 (41.4)  
 ※ カッコ内は昨年同時期の数値



止葉展開期とは…  
 ほ場全体の40~50%が  
 止葉展開した時期

## 2. 止葉展開期追肥 (分施肥系の場合)

- ・ 整粒歩合の向上や粒の肥大促進を図ります。
- ・ 施肥時期が早いと、整粒歩合の低下や倒伏につながります。
- ・ また、施肥時期が遅かったり、施肥量が多いと、硝子率の増加につながります。

表2. 止葉展開期の生育と追肥量の目安

葉色・葉色板 (SPAD)	予想穂数 (m <sup>2</sup> 当たり)	硫安施用量 (kg/10a)	( ) は窒素成分量
5未満 (45未満)	500本未満	10	(2)
5以上 (45以上)	500本以上	7kg程度	(1.5)
5以上 (45以上)	500本未満	5	(1)
5以上 (45以上)	500本以上	施用しない	

※ 基肥一発肥料の場合は、止葉展開期追肥は原則施用しない。  
 ただし、葉色が淡いようなら営農指導員にご相談ください。

## 3. 排水対策の徹底

- ・ 湿害は、収量や品質を低下させます。  
 排水溝に崩れがないか確認をお願いします。